



埼玉県連合教育研究会
会長 浅見 正史

活動理念

『— 教育立県・埼玉の総合教育研究組織として未来を創造する —』

会員の皆様には、日ごろより埼玉県連合教育研究会の諸事業にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、昨年度、本研究会は設立61年目を迎えましたが、「埼玉教60年のあゆみ」の刊行を通して、改めて本研究会の設立の趣旨や存在の意義について、振り返ることが必要であると感じました。

そこで、会員のつながりや地域教育研究団体と教科等研究団体の連携協力をより強固なものとし、教育立県・埼玉の向上を目指すべく、新たに「活動理念」及び「活動方針1・2」を設定し公表いたしました。

これまで、本研究会では、文部科学省や埼玉県教育委員会、さいたま市教育委員会等の「活動方針」や「指導の重点・努力点」等を参考に、毎年、本研究会の「活動方針」等を検討し直してきましたが、その内容が、学校経営や学習指導等に関する内容であり、埼玉県の総合教育研究組織としての本来のあるべき姿を体現するものではありませんでした。

また、「連合」という言葉は、英語の「Union」や「Federation」であり、共同の目的のために、独立性のある組織が一つにまとまることを意味します。埼玉県連合教育研究会でいえば、各地域教育研究団体同士の連合体、各教科等研究団体同士の連合体、そして、地域教育研究団体と教科等研究団体の連合体としての組織的、計画的な研究活動を推進することにより、埼玉県教育の振興に寄与することを目指すべきであると考え設定しました。

つきましては、以下の「活動理念」及び「活動方針1・2」をもとに、日々の組織体としての研究活動の推進をよろしくお願い申し上げます。

【活動理念】

— 教育立県・埼玉の総合教育研究組織として未来を創造する —

【活動方針1】

埼玉県連合教育研究会は、県内すべての教科等研究団体と地域教育研究団体を結集する総合教育研究組織としての活動理念を基盤に、多様な専門性を統合する「学びの共同体」を構築し、研究成果の体系化・発信力を強化することで、埼玉教育の未来を創造的に牽引する。

【活動方針2】

会員相互の連携を一層緊密にし、学校種・地域・領域を越えた協働を通して、県全体の教育課題に迅速かつ柔軟に応答する研究体制を築く。

また、研究成果を広く共有する仕組みを整備し、研修の充実と教育水準の向上に組織として継続的に貢献することで、「教育立県・埼玉」を支える未来志向の研究拠点としての役割を果たす。

なお、各会員の皆様におかれましては、本年度も、本会報の研究主題や研究内容に向けての自主的・創造的・組織的な日々の研究活動をより一層充実したものとしていただけるものと期待しております。

結びに、埼玉県教育委員会・さいたま市教育委員会並びに日本教育公務員弘済会埼玉支部の皆様には、ご指導、ご支援をいただき心より御礼申し上げ、あいさつといたします。

目次

・会長あいさつ、「活動理念」・「活動方針1・2」……	1	・地域教育研究団体の取組……	7
・令和8年度役員・評議員等……	2	・事務局だより等……	11
・教科等研究団体等の研究主題・研究内容……	3	・令和9年度研究論文募集要領（案）……	12

令和8年度 埼玉県連合教育研究会 役員・評議員等名簿

1. 本部役員等

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会 長	浅見 正史	さいたま・大宮東中	理事(書 写)	三上 陽照	狭山・御狩場小
副会長(さいたま)	酒井 和浩	さいたま・八王子中	〃(音 楽)	中根 隆弘	川口・里中
〃 (南部)	萩谷 健	上尾・原市中	〃(道 徳)	栗原 利夫	宮代・百間中
〃 (西部)	武田 圭介	富士見・富士見台中	〃(心理相談)	小崎 賢司	越谷・南越谷小
〃 (北部)	松原 由郎	熊谷・大幡小	監 事	石井 勝博	富士見・鶴瀬小
〃 (東部)	佐藤 理香	八潮・中川小	〃	西澤 淳	熊谷・奈良中
常任理事(さいたま)	新堀 栄	さいたま・大砂土小	〃	木村 信之	久喜・久喜中
〃 (南部)	小松 薫樹	草加・草加中	編集委員長	越智 宏明	さいたま・大砂土中
〃 (南部)	清水 励	鴻巣・赤見台第二小	編集委員	波戸内友基	埼玉大学・附属小
〃 (西部入間)	中村 啓	所沢・泉小	〃	大塚 悠希	埼玉大学・附属中
〃 (西部比企)	佐藤 香織	川島・川島中	〃	石川 和宏	桶川・桶川小
〃 (北部秩父)	宮本 典行	秩父・秩父第一中	〃	大島 綾子	蕨・南小
〃 (北部児玉)	前田 芳江	本庄・本庄西小	事務局長	渡辺 俊行	さいたま・大宮東中
〃 (北部大里)	下条 徹	深谷・常盤小	幹 事	豊永 崇史	さいたま・大宮東中
〃 (東部北埼玉)	橘 明良	行田・南小	〃	中村 涼穂	さいたま・大宮東中
〃 (東部埼玉葛)	野間口研道	久喜・栗橋東中			

2. 教科等研究団体

No.	研究団体名	会長名	所 属
1	埼玉県国語教育研究会	田辺 鉄章	深谷・上柴西小
2	埼玉県書写教育研究会	三上 陽照	狭山・御狩場小
3	埼玉県社会科教育研究会	高田信太郎	さいたま・仲本小
4	埼玉県算数数学教育研究会	林 義典	鴻巣・赤見台第一小
5	埼玉県理科教育研究会	田中 一秀	さいたま・本太中
6	埼玉県音楽教育連盟	中根 隆弘	川口・里中
7	埼玉県美術教育連盟	小出喜代子	川口・西中
8	埼玉県保健体育研究会	内田 健二	春日部・春日部南中
9	埼玉県英語教育研究会	吉田由紀恵	桶川・桶川東中
10	埼玉県道徳教育研究会	栗原 利夫	宮代・百間中
11	埼玉県特別活動研究会	青木 元秀	越谷・川柳小
12	埼玉県進路指導・キャリア教育研究会	堀川 博基	富士見・西中
13	埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会	樋口 誠	春日部・武里中
14	埼玉県教育心理・教育相談研究会	小崎 賢司	越谷・南越谷小
15	埼玉県特別支援教育研究会	井上 弘江	幸手・長倉小
16	埼玉県学校図書館協議会	伊藤あゆみ	久喜・本町小
17	埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会	山本 智広	川口・在家中
18	埼玉県小学校家庭科教育研究会	棚村かおり	深谷・藤沢小
19	埼玉県生活科総合的な学習の時間教育研究会	安東由美子	春日部・正善小

3. 地域教育研究団体

旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所 属	旧事務所	No.	研究団体名	会長名	所 属
南 部	1	埼玉大学教育学部附属小学校	葉石 光一	埼玉大学・附属小	比 企	30	東松山市教育研究会	二口 法子	東松山・桜山小
	2	埼玉大学教育学部附属中学校	内田 裕子	埼玉大学・附属中		31	小川班教育研究会※2	宮澤 忍	小川・大河小
	3	さいたま市教育研究会	酒井 和浩	さいたま・八王子中		32	菅谷班教育研究会※3	林 雄一	嵐山・志賀小
	4	川口市教育研究会	渡辺 秀和	川口・芝東中		33	玉川班教育研究会※4	小野川和史	鳩山・鳩山中
	5	草加市教育研究会	小松 薫樹	草加・草加中		34	川島教育研究会	佐藤 香織	川島・川島中
	6	蕨市教育研究会	山崎 斉	蕨・北小		35	吉見教育研究会	前田由美子	吉見・東第一小
	7	戸田市教育研究会	山根 淳一	戸田・喜沢小	秩 父	36	秩父教育研究会※5	宮本 典行	秩父・秩父第一中
	8	志木市教育研究会	小暮 孝明	志木・志木第四小	児 玉	37	児玉郡本庄市教育研究会※6	前田 芳江	本庄・本庄西小
	9	朝霞市教育研究会	野口 邦彦	朝霞・朝霞第三中	大 里	38	熊谷市教育研究会	松原 由郎	熊谷・大幡小
	10	新座市教育研究会	石渡 知樹	新座・片山小		39	深谷市教育研究会	下条 徹	深谷・常盤小
	11	和光市教育研究会	島崎 秀	和光・第二中		40	寄居町教育研究会	富田 陽一	寄居・寄居小
北 部	12	埼玉大学教育学部附属特別支援学校	内河水穂子	埼玉大・附属特別支援	北 埼	41	行田市教育研究会	橘 明良	行田・南小
	13	鴻巣市教育研究会	清水 励	鴻巣・赤見台第二小		42	加須市教育研究会	中島 高広	加須・元和小
	14	北本市教育研究会	森田 浩幸	北本・西中		43	羽生市教育研究会	清水乃理子	羽生・新郷第二小
	15	上尾市教育研究会	赤羽 洋治	上尾・尾山台小	埼 葛	44	春日部市教育研究会	加藤 大二	春日部・豊野小
	16	桶川市教育研究会	小高 剛	桶川・桶川中		45	越谷市教育研究会	福田 悟之	越谷・荻島小
	17	伊奈町教育研究会	寶田恵美子	伊奈・小室小		46	久喜市教育研究会	伊藤あゆみ	久喜・本町小
入 間	18	川越市教育研究会	岡島 一恵	川越・川越第一中		47	三郷市教育研究会	阿久津 進	三郷・前間小
	19	所沢市教育研究会	中村 啓	所沢・泉小		48	蓮田市教育研究会	飯野 正章	蓮田・平野小
	20	飯能市教育研究会	富山 真紀	飯能・富士見小		49	幸手市教育研究会	井上 弘江	幸手・長倉小
	21	日高市教育研究会	利根川典正	日高・高麗小中		50	八潮市教育研究会	大松 武晴	八潮・大曾根小
	22	狭山市教育研究会	田中 義久	狭山・富士見小		51	杉戸町教育研究会	千葉 耕平	杉戸・杉戸小
	23	入間市教育研究会	前畑 哲也	入間・藤沢中		52	吉川市教育研究会	相沢 一弘	吉川・中央中
	24	富士見市教育研究会	関根 一磨	富士見・みずほ台小		53	松伏町教育研究会	大八木健夫	松伏・金杉小
	25	ふじみ野市教育研究会	鈴木 孝雄	ふじみ野・亀久保小		54	白岡市教育研究会	柴崎 憲一	白岡・南中
	26	坂戸市教育研究会	熊谷千佳子	坂戸・千代田小		55	宮代町教育研究会	栗原 利夫	宮代・百間中
	27	鶴ヶ島市教育研究会	栗原 智靖	鶴ヶ島・杉下小		入間地区連合教育研究会		岡崎 秋世	所沢・東所沢小
	28	越生班教育研究会※1	藤田 茂	毛呂山・光山小	埼玉葛連合教育研究会		野間口研道	久喜・栗橋東中	
	29	三芳町教育研究会	唐松 善人	三芳・三芳東中	<令和8年度 学校数 1,196校 会員数 31,125名>				

<令和8年度 学校数 1,196校 会員数 31,125名>

※1 越生班教育研究会【越生町・毛呂山町】

※2 小川班教育研究会【小川町・東秩父村】

※3 菅谷班教育研究会【滑川町・嵐山町】

※4 玉川班教育研究会【鳩山町・ときがわ町】

※5 秩父教育研究会【秩父市・横瀬町・小鹿野町・皆野町・長瀨町】

※6 児玉郡本庄市教育研究会【本庄市・上里町・美里町・神川町】

令和8年度

**教科等研究団体及び埼玉大学
教育学部附属小・中学校の
研究主題・研究内容
《21団体》****1. 国語教育****埼玉県国語教育研究会****1 研究主題**

「生活に生きて働く国語の能力の育成を
めざす授業の創造」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を生かし、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、興味関心を生かした多様な言語活動を工夫し、児童・生徒の学習意欲を高めるための実践的研究を行う。

また、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育むとともに、言語感覚を豊かにするための実践的研究を行う。

研究主題を具現化するために、言語環境をはじめ教材や教具、学習形態や学習方法、言語活動が豊かに整えられ、一人一人のよさを認め、伸ばしていこうとする国語教室こそ、児童・生徒の自ら学ぶ意欲を高めることができるものと考え、これらの実践的研究と様々な事業を行う。

具体的には、役員研修会、夏季研修大会、地区別授業研究会、研究委嘱校発表会、研究発表会を開催し、それぞれの事業での発表、講演会などを通して、研究主題の実現を目指す。

2. 書写教育**埼玉県書写教育研究会****1 研究主題**

「書字文化を育む書写教育」

2 研究内容

授業力向上を目指す実践的研究と日常に資する技能向上研修を行う。

- (1) 研究協議会・講演会開催（4月 書写教育研修）
- (2) 実技研修会開催（8月 教職員の指導技術向上）
- (3) 授業研究会開催（11月 授業力向上）
- (4) 硬筆展・書きぞめ展の開催（6月・1月）

- ① 硬筆展 6月27日(土)・28日(日)
会場：和光市立広沢小学校
- ② 書きぞめ展 1月30日(土)・31日(日)
会場：所沢市立並木小学校

※ 両展とも規模を一部縮小して開催

- (5) 『研究集録』の発行（3月 研究成果の紙上発表）

3. 社会科教育**埼玉県社会科教育研究会****1 研究主題**

- (小) 「社会がわかり、社会にかかわる子供
を育てる社会科学習」
- (中) 「主体的に社会へ参画する生徒
を育てる社会科学習」

2 研究内容

- (1) 理事研修会
日時：令和8年6月25日(木)
会場：RaiBoC Hall（市民会館おおみや）
- (2) 第52回ブロック別授業研究会
小学校5校・中学校5校
- (3) 第56回中学校基礎学力調査
- (4) 「会誌第48号」を令和9年3月埼玉研ホームページに公開予定
- (5) 令和10年度全国中学校社会科教育研究大会埼玉大会開催予定

4. 算数・数学教育**埼玉県算数数学教育研究会****1 研究主題**

「学ぶ楽しさを味わう算数数学の学習をめざして」

2 研究内容

学習指導要領の趣旨を踏まえ、教材研究を深め、指導内容の系統を明らかにし、数学的活動を重視した学習指導を展開する。

そのため、児童・生徒の学習意欲を喚起し、数理的な処理のよさや数学的な見方・考え方のよさに気付かせ、算数・数学を活用できるよう学習過程や指導の工夫に努め、指導と評価の一体化を図る。

本年度は、昨年度に引き続き、オンライン対応のノウハウを活用し、各種授業研究会や研究発表大会を対面やハイブリッド形式でも開催する。

5. 理科教育**埼玉県理科教育研究会****1 研究主題**

「主体的・対話的で深い学びを実現する
ための教材の工夫及び開発」

2 研究内容

児童・生徒が理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行い、根拠に基づく結論を導き出す過程を通して、自然の事物・現象を主体的・科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する学習指導の研究及び実践を行っている。

また、子どもたちの主体的・対話的で深い学びを実現するために教材研究を行っていく。

- (1) 児童が導入場面で自発的に問題を見出すことがで

きるようにするための教材の工夫及び開発

- (2)「個別最適な学び」と「協働的な学び」にむけた
教師の支援と教材の工夫及び開発
- (3) ICTを用いた教材の工夫及び開発

3 関東大会の開催

第34回関東甲信越地区中学校理科教育研究会

埼玉大会

令和8年11月13日(金)

さいたま市立美園南中学校・深谷市立幡羅中学校
・川越市立霞ヶ関中学校・久喜市立久喜南中学校
・川口市立高等学校附属中学校

6. 音楽教育

埼玉県音楽教育連盟

1 研究主題

「生涯にわたって音楽と豊かに関わり、
主体的に学び続ける児童・生徒の育成」
～音楽科の学びの質を追求し、「主体的・対話的
で深い学び」の一層の具現化を図る授業改善～

2 研究内容

- (1)「主体的・対話的で深い学び」の実装
「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」
を図りながら、生きて働く「知識及び技能」の習得、
未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現
力等」を一体的に育成していく。
- (2)次期学習指導要領に向けた「指導と評価の一体化」
「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を「初
発の思考や行動を起こす力」、「学びの主体的な調
整」、「他者との対話や協働」、「学びを方向付ける人
間性」の四つの視点に整理されたことから、それ
らの往還の指導、個人内評価の手立て、特に表出
した児童・生徒の評価について研究する。

7. 図画工作・美術教育

埼玉県美術教育連盟

1 研究主題

「きらめく感性 つくりだす喜び
～未来をひらく授業づくり 「深い」学びの探究～」

2 研究内容

- (1)受け止めよう 子どもの心
(2)育てよう 確かな力
(3)深めよう 生き生き授業

3 今後に向けて

埼玉県造形教育研究大会は、「創造体験研修会
(Navi1)」と「授業実践研究会(Navi2)」に内容を分け、
2年間で開催することとしている。

現在、次年度の研究大会(Navi2)に向けて研究部を
中心に協議を進めている。

4 全国大会の開催

第78回全国造形教育研究大会埼玉大会

令和9年2月19日(金)

川口総合文化センターリリア 川口市立美術館

8. 保健体育教育

埼玉県保健体育研究会

1 研究主題

- (小)「運動の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わ
うとともに、資質・能力をバランスよく身に付け
る授業の工夫」
「健康・安全に関する内容を実践的に理解する授
業の工夫」
- (中)「3つの資質・能力をバランスよく育成する保健
体育指導の実践」

2 研究内容

- (小)「器械運動系」・「陸上運動系」・「保健」
(中)「器械運動の特性に応じた効果的な学習指導の工
夫」
「球技の特性に応じた効果的な学習指導の工夫」
「生涯を通じて心身の健康を保持増進するための
資質・能力を育てる保健教育の工夫」

9. 英語科教育

埼玉県英語教育研究会

1 研究主題

「自分の未来を切り拓くことのできる
児童・生徒の育成を目指した英語教育」

2 研究内容

各地区の代表の教員による、英語の授業実践や学習
指導等の研究発表や、それらに対する活発な意見交換
を通して、教員の資質・能力の育成及び主題について
の研究を深めたい。

また、日頃の学習指導の成果発表の場として、中学
生を対象とした英語弁論大会を開催し、指導教員及び
生徒の意識の高揚を図りたい。

10. 道徳教育

埼玉県道徳教育研究会

1 研究主題

「一人一人のよさや可能性を引き出す道徳教育」

2 研究内容

- (1)8月「夏季研修会」
理論研修や教材吟味等を行い、授業実践、指導方
法改善について協議を行う。
また、十文字学園女子大学教授 浅見 哲也 氏
の講演会を開催し、理論と実践の研究を深める。
(参集型での演習、講演等の全日研修)
- (2)1月「埼玉県道徳教育研究大会・越谷大会」
越谷市立大沢小学校を会場に公開授業及び研究の
概要説明、研究協議を行う。
その後、御指導を含め、埼玉県教育局義務教育指

導課の道德担当指導主事の講演を聴講し、道德教育に係る研鑽を深める。

- (3) 道德教育の研究第57集及び道德指導資料集（第39集）の発刊

11. 特別活動

埼玉県特別活動研究会

1 研究主題

「共生社会の実現につながる資質・能力を育む
特別活動」

2 研究内容

昨年度まで取り組んだ「持続可能な社会の創り手を育成する特別活動」を主題とした研究で得られた成果と課題を踏まえ、共生社会の実現につながる資質・能力とはどのようなものか、それらを子供一人一人が身に付け、実践できるようにするためにどのような指導を行うか、本研究主題の下、研究を進めることとした。

研究の内容は、①「共生社会の実現につながる資質・能力を育むための指導計画」、②「共生社会の実現につながる資質・能力を育むための指導と評価の方法」の2点を中心とし、研究を進めていく。

また、① 専門委員研究協議会（年3回）、② 定期総会・講演会、③ 夏季研究協議会、④ 研究集録発刊、⑤ 会報「特活」発刊（年3回）などを通して、県内の特別活動の充実、発展を目指す。

12. 進路指導・キャリア教育

埼玉県進路指導・キャリア教育研究会

1 研究主題

「未来を見据え、主体的に生き抜く力を育てる
キャリア教育の推進 ～小中一貫を円滑に
進めるための協働的な取組を通して～」

2 研究内容

25地区進路指導・キャリア教育研究協議会を中心に本年度も継続的に研究を推進する。

その内容については、ここ数年、各校の研究の深化により、包括的性教育や企業との連携実践、エージェントとの連携、特別支援教育での充実等、その機能が高まっている。

また、令和8年度においては、県公立高等学校等入学者選抜の改善に伴う、進路指導事務の指導の在り方について、実践を踏まえつつ、その状況についてまとめていく。

13. 学校視聴覚教育

埼玉県学校視聴覚教育連絡協議会

《埼玉県学校視聴覚教育連盟》

1 研究主題

「主体的に活動する力を育む教育メディアの活用を目指して～楽しく学ぶ、進んで学ぶ、互いに学ぶ～」

2 研究内容

教育メディアやICTを積極的に活用した学習を研究・展開し、児童・生徒に自ら学ぶ力と主体的に問題を解決する力・情報活用能力を身に付けさせ、生きる力を育成することを目的に活動を進めている。

研究主題について、より効果的・効率的に県内各団体との連携や情報共有を行い、研究を進めていく。

本年度は、「令和10年度関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会埼玉大会」の開催を見据え、実践の収集及び配信技術の向上を目指す。

《埼玉県放送教育研究会》

1 研究主題

「共に学び、考え、次の時代を創る埼玉の放送教育～ひろがる つながる 深まる みんなと幸せになる～」

2 研究内容

日々の授業や研究活動を充実させ、放送番組の活用を推進し、授業研究会・全国大会、関東ブロック大会・放送コンテスト等を通して授業研究等の成果を広く発信していく。

3 関東大会に向けて

「令和10年度関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会埼玉大会」の開催を見据え、実践の収集及び配信技術の向上を目指す。

《埼玉県教育機器研究会》

※ 本年度休会

14. 教育心理・教育相談

埼玉県教育心理・教育相談研究会

1 研究主題

「通常の学級における発達障害児童・生徒等の指導支援～社会性を育むスキル教育の実践と定着～」

2 研究内容

- (1) 通常の学級において、発達障害や配慮を要する児童・生徒をどのように理解し、指導支援していくか、保護者対応にも視点をあて、効果的な事例を分析して研究を深め、実践事例等を県内に広める。
- (2) 社会性を育むスキル教育の実践と定着を図るため、県内各地区の事例や情報を収集し研究を深める。
- (3) 定例の理事会・専門委員会において、教育心理・教育相談の課題等について研究協議を行う。

15. 特別支援教育

埼玉県特別支援教育研究会

1 研究主題

「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて」

2 研究内容

- (1) 幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達の段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。
- (2) 発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生

活に特別な支援を必要とする幼児児童生徒に対する指導の在り方を追究する。

- (3) 新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させるとともに、オンラインでの会議・研究協議会等も取り入れ、現代の働き方の推進の中での合理的な研究会の在り方を創造する。

16. 学校図書館教育

埼玉県学校図書館協議会

1 研究主題

「豊かな心と確かな学びを育む学校図書館の創造
～主体的・対話的で深い学びを支える
学校図書館教育～」

2 研究内容

(1) 研究

学習指導要領の趣旨に基づき、学校図書館に関する利用指導・読書指導を中心に、学校・家庭・地域（公立図書館等・図書ボランティア等）との連携を図り、学校のエデュケーションの展開に寄与する学校図書館を目指し研究を推進する。

(2) 事業

- ① 集会 理事会、学校図書館研究大会
- ② 協議 第1～2回研究協議会
- ③ 研究 学校図書館授業研究会
- ④ 表彰 読書感想文・読書感想画コンクール審査
- ⑤ 刊行 埼玉 SLA 会報、感想文・感想画集『真珠』
- ⑥ 広報 夏休み・冬休みの推薦図書案内

17. 技術・家庭科教育

埼玉県中学校技術・家庭科教育研究会

1 研究主題

「未来社会を切り拓くための資質・能力を
育む学習指導の研究」
～問題発見・課題解決学習と創造する学びを通して～

2 研究内容

次期学習指導要領を見据えながら、これまでの実践をもとに現学習指導要領が示す資質・能力の育成に効果的な指導と、その評価の研究を継続している。

本年度は、関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会埼玉大会を11月に開催し、これまで探究してきた技術・家庭科における問題発見及び課題解決的な学習の充実と、生徒が自ら学習を深めていく「新たな学びの在り方」について提案発表を行う。

他都県の先生方との交流や学び合いから、授業改善及び授業づくりの示唆を得る。

今後も、国立教育政策研究所の指導をいただきつつ、県下全域で広く情報共有しながら、研究の深化を図る。

3 関東大会の開催

第65回関東甲信越地区中学校技術

・家庭科研究大会埼玉大会

・11月19日(木) 理事会・全体会 RaiBoC Hall

・11月20日(金) 授業公開・分科会 県内9中学校

18. 小学校家庭科教育

埼玉県小学校家庭科教育研究会

1 研究主題

「豊かな心と実践力を育み、未来を拓く家庭科教育
～学びをつなぎ、家庭生活をよりよく
しようと工夫し実践する児童の育成～」

2 研究内容

- (1) 東松山市立青鳥小学校にて、令和9年1月26日(火) 第57回埼玉県小学校家庭科教育研究協議会を開催する。

記念講演 文部科学省初等中等教育局

教育課程調査官 熊谷 有紀子 氏

- (2) 第一回研修会において、埼玉県教育局市町村支援部義務教育指導課指導主事 山崎 元美 氏をお招きし、講演会を開催する。

- (3) 夏季研修会において、南部教育事務所指導主事 吉田 みゆき 氏をお招きし、講演会を開催する。

- (4) 埼玉県児童・生徒発明創意くふう展を開催する。

- (5) 「研究集録 第57号」を編集し発行する。

19. 生活科・総合的な学習の時間教育

埼玉県生活科・総合的な学習の時間教育研究会

1 研究主題

「児童の気付きや概念的理解を質的に
高める指導の工夫」

2 研究内容

生活科における気付き・質の高まり、総合的な学習の時間における概念形成について、考え方を整理する。具体的な実践例を基に、気付きの質の高まりや概念的理解の高まりについて考察するとともに、児童・生徒が変容したきっかけについて分析をし、教師の適切な支援についても整理する。

生活科、総合的な学習の時間の授業場面を類型化して、それぞれの場面で求められる気付きの質と概念的理解の高まりや、その評価についても整理し、児童・生徒の気付きや概念的理解を質的に高めるための指導方法について研究を進める。

20. 埼玉大学教育学部附属小学校

埼玉大学教育学部附属小学校

1 研究主題

「漸進する学び」(4年次)

2 研究内容

- (1) 第94回小学校教育研究協議会

令和9年1月28日(木)・29日(金)に開催する。

研究4年次として、各教科、健康教育において個人

研究の授業公開、提案を行う。

(2) 校内授業研究会

個人の研究主題を基に、学校及び教科の研究主題を踏まえ、授業を通して理論の検証を試み、全員で研究協議（質疑・グループ協議等）を行う。

21. 埼玉大学教育学部附属中学校

埼玉大学教育学部附属中学校

1 研究主題

「『考え実現する力』で未来を舵取り
できる生徒の育成」（1年次）

2 研究内容

本年度は、これまで4年間の研究主題であった「挑戦心を育む『令和の日本型学校教育』の実現」を経て育まれた挑戦心や実行力を、一過性の行動で終わらせないために、自分の価値観や目的に照らして立ち止まり、考えを深めたうえで行動し続ける力の育成を目指すこととした。

各教科の授業づくりにおいては、共通の視点として以下の二つの手立てを設定し、実践を進めた。

- (1)「考え実現する力」を引き出す学習指導の工夫
 - (2) 情報活用能力を用いて考え、実現するための「収集、整理、比較、発信」の工夫
- 「考え実現する力」を授業の中で意図的に引き出すことで、課題を乗り越えながら、未来を自ら切り拓いていく生徒の姿につながるのではないかと考え、実践研究する。

令和8年度

地域教育研究団体の 取組 《13団体／55団体》

1. 川口市教育研究会

会長 渡 辺 秀 和

本研究会は、川口市立小学校52校、中学校28校の教職員2,080名を会員として21の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本会の基本理念「子どもから出て 子どもに還る」に基づき、学校のエデュケーション活動との調和と充実を図ることを目的とする。

2 主な事業

- (1) 本部事業

- ① 定期総会（紙面開催）
- ② 評議員会（オンラインにて年2回予定）
- ③ 部長・会計担当者会議
- ④ 本部役員会
- ⑤ 教育講演会 8月26日(水)

演題 「カスハラを未然に防ぐ

コミュニケーション術」

講師 株式会社 Tree 心理カウンセラー

吉村 園子 氏

- ⑥ 研究紀要の作成・発行

(2) 各研究部の主な活動

- ① 研究部総会
- ② 研究部主催の授業研究会及び研修会
- ③ 展覧会等（書写、図工・美術）
- ④ 読書感想文コンクール（学校図書館）
- ⑤ 音楽鑑賞教室（音楽）

2. 志木市教育研究会

会長 小 暮 孝 明

本会は、志木市立小学校8校、中学校4校の教職員361名を会員として、36の研究部で組織されている教育研究団体である。

1 本研究会の目的

本会は、公教育の理念に基づき、志木市の主任会と連携し、本市教育の充実・発展に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 小・中学校教科等授業研究会

各教科の指導方法に関する研修を行い、教員としての使命感を高め、実践的な指導力を養い、児童・生徒の学力向上に資する。

令和7年度より、開催方法を、四つから選択できるようにした。

A：同日開催方式

（令和8年度は9月15日(火)に開催）

B：学校訪問日に充てる方式

C：地区授業研究会に充てる方式

D：単独で開催する方式

の四つから選択できるようにした。

教職員は、必ず1回、授業研究会に参加することとした。

- (2) 各教科等部会の主な主催事業

- ① 創造展 ② 硬筆展 ③ 書きぞめ展
- ④ 市内音楽会 ⑤ 科学展 ⑥ 発明創意くふう展
- ⑦ 英語スピーチコンテスト ⑧ 太陽展
- ⑨ 中学校区ごとの小学校スポーツ交流会

- (3) 令和7年度より、四つの中学校区全てが、小中一貫型小中学校となり、各中学校区による研究発

表を開催している。

(4) その他必要な事項

3. 桶川市教育研究会

会長 小 高 剛

本研究会は、桶川市立小学校7校及び中学校4校の計11校に在籍する313名の教職員を会員として組織され、21の部会によって構成されている。

1 本研究会の目的

本会は、市内教育の振興を図り、文化の進展に寄与することを目的としている。

2 主な事業

(1) 定期総会（書面評決） 5月

(2) 教育講演会（オンライン開催）

期日 8月27日(木)

演題 「学校事故発生時の対応について」

講師 埼玉弁護士会 森 美奈子 氏

共催 桶川市教育委員会

(3) 各研究部の活動

ア 研修会等

① 授業研究会 ② 研究協議会 ③ 実技研修会

④ 担当者会議 ⑤ 現地研修会 ⑥ 夏期研修会

⑦ 指導案検討会

イ 主な主催事業

① 硬筆展 ② 書きぞめ展 ③ 科学展

④ 音楽会 ⑤ 美術展 ⑥ 英語弁論大会

⑦ 発明創意くふう展 ⑧ 読書感想文コンクール

(4) 研究紀要の作成

4. 所沢市教育研究会

会長 中 村 啓

本研究会は、小学校32校、中学校15校に在籍する教職員1,277名を会員数とする組織である。

会員は、6地区25研究部に所属して、研究活動を進めている。

1 本研究会の目的

本研究会は、教育基本法に基づき、自主的な教育活動を推進、職能の向上を図るとともに、所沢市教育の進展に寄与することを目的とする。

2 主な事業

(1) 教科領域部会

(2) 代議員総会

(3) 運営委員会・本部役員会

(4) 各教科領域研究部の活動

・主任研修会（研究協議会、授業研究会等）

(5) 各教科領域部会の主な主催事業

① 硬筆審査会 ② 市内中学校美術展

③ スピーチコンテスト ④ 市内科学展

⑤ 発明創意くふう展 ⑥ 読書感想文審査会

⑦ 親善音楽会 ⑧ 書きぞめ展

⑨ ふれあい作品展

5. 富士見市教育研究会

会長 関 根 一 磨

本研究会は、富士見市の小学校11校、中学校6校、特別支援学校1校の計18校に在籍する541名を会員として、24の研究部、五つの研究班で組織されている。

1 本研究会の目的

本会は、富士見市立学校教職員の自主的・組織的な研究活動を推進し、職能の向上と教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

(1) 定期総会 5月12日(火)オンライン開催

(2) 本部役員会（5回）、理事会（3回）

研究部長・班長会議（3回）

(3) 会員の研究活動（研究部・班ごとに計画）

(4) 各研究部の活動

① 主任会 ② 授業研究会 ③ 実技研究会

④ 協議会 ⑤ 展覧会 等

(5) 教育講演会 1月12日(火)

(6) 市内一斉研究発表会 2月12日(金)

6. ふじみ野市教育研究会

会長 鈴 木 孝 雄

本研究会は、ふじみ野市内の小学校12校と中学校6校、計18校の教職員482名を会員とし、29の部会で構成している。

1 本研究会の目的

本会は、会員の資質向上と親睦をはかり、ふじみ野市教育の進展に寄与することをもって目的とする。

2 主な事業

(1) 一斉主任会

(2) 理事・部長研修会

(3) 定期総会

(4) 各研究部の活動

① 主任研修会

研究協議会、授業研究会、実技研修会 等

② 主な主催事業

硬筆展、書きぞめ展、科学展

7. 東松山市教育研究会

会長 二 口 法 子

本会は、東松山市立小学校11校、中学校5校に在籍する教職員478名を会員として組織され、32の教科領域等の部会で構成されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、東松山市立学校教職員の自主的・組織的な研究活動を推進し、資質・能力の向上と教育の振興を図ることを目的とする。

2 主な事業

(1) 理事研究協議会

令和8年6月19日(金)オンライン開催

令和9年3月5日(金)オンライン開催

(2) 定期総会

令和8年5月12日(火)オンライン開催

(3) 教育講演会

令和8年8月21日(金)オンライン開催

・演題 「困っている子どもの背景と支援」

・講師 立命館大学教授 宮口 幸治 氏

(4) 各研究会の活動

① 主任研修会

研究協議会・授業研究会・実技研修会 等

② 主な主催事業

東松山地区硬筆展・書きぞめ展、

科学教育振興展覧会、音楽会 等

8. 児玉郡本庄市教育研究会

会長 前 田 芳 江

本研究会は、本庄市、上里町、美里町、神川町の1市3町(児玉郡本庄市)の小学校23校、中学校8校に在籍する教職員730名で組織され、30の教科・領域等の研究会で構成されている

1 本研究会の目的

本研究会は、児玉郡本庄市内における各研究会の活動をととして、児玉郡本庄市の小・中学校の教育振興を図ることを目的としている。

2 主な事業

(1) 新旧本部役員研修会 4月10日(金)

(2) 組織づくり 4月14日(火)・15日(水)

(3) 理事研修会及び総会 5月19日(火)

(4) 第1回部長会議 6月30日(火)

(5) 教育講演会 7月31日(金)

○ 演題 「子どもの脳を守り育てるために、
学校ができること」

～睡眠・子どもの脳疲労

・教師の声かけ～

○ 講師 文教大学教育学部特別支援教育専修

教授 成田 奈緒子 氏

(6) 本部役員研修会 2月上旬

(7) 「研究集録」発行 3月上旬

(8) その他

授業研究会、地区音楽会、美術展、実技研修会等を運営

9. 寄居町教育研究会

会長 富 田 陽 一

本研究会は、寄居町内の小学校6校、中学校3校に在籍する教職員183名の教職員で組織され、30の教科領域等の研究部で構成されている。

1 本研究会の基本方針

○ 教育課程研究推進のため、会員相互の研修を充実する。

○ 児童・生徒の学力向上と健全育成のため、小中学校連携強化と各種事業の推進に努める。

2 主な事業

深谷市と共催の授業研究会、町内各部の研修会を開催し、各部の研究課題に取り組んでいる。

(1) 教科領域等主任研修会 4月9日(木)

校長・部長・企画委員会合同会議

(2) 寄居町教育研究会総会 4月30日(木)

(3) 教科領域部長会 5月12日(火)

(4) 小中学校一斉研究会(深谷市と共催)

11月6日(金)

(5) 各種展覧会・コンクールの開催

(6) 研究紀要の作成

※ 令和8年度は教育講演会を開催せず

10. 羽生市教育研究会

会長 清 水 乃 理 子

本研究会は、羽生市内の小学校9校、中学校3校の教職員282名により、28の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

「豊かな学びで夢と希望が輝く羽生の教育」を基本理念として、「知・徳・体・コミュニケーション能力」を地域とともに育み、羽生市の教育に関する Well-being の向上を図る。

2 主な事業

(1) 定期総会・研究協議会

期日 6月3日(水)

本部 羽生市立羽生北小学校

※ 台風接近のため、オンデマンド開催

(2) 教育講演会

期日 7月22日(水) オンライン開催

本部 羽生市立新郷第二小学校

演題 「Chrome Google AI 併せて 学ぶ

～ GIGA スクール第2期に伴う

ワークショップ～」

講師 幸手市教育委員会 ICT 教育専門員

文教大学教育学部

非常勤講師 大西 久雄 氏

(3) 各研究部による研修会

- ① 授業研究会 ② 研修会 ③ 実技研修会
- (4) 各研究部主催による展覧会 等
- ① 硬筆展 ② 書きぞめ展 ③ 科学展
- ④ 美術展 ⑤ 音楽会 等

11. 吉川市教育研究会

会長 相 沢 一 弘

本研究会は小学校8校、中学校4校の計12校に在籍する教職員378名を会員とし、27の研究部で組織されている。

1 本研究会の目的

本研究会は、吉川市内小中学校教育の振興と教職員の資質の向上を図ることを目的とする。

2 事業

- (1) 教育に関する研究会、発表会、講演会等の開催
- (2) 教育に関する研究調査や研究物の刊行
- (3) 市内各校及び教育関係機関との連絡提携
- (4) その他、目的達成に必要な事業

3 主な事業内容

- (1) 定期総会・講演会 5月（集合）
- (2) 評議委員会・研究部長会 年5回
（集合、オンライン開催）
- (3) 研究部全体会 年1回 （オンライン開催）
- (4) 各研究部研究協議会 各部 年3回以内
- (5) 主催行事
 - ① 硬筆展審査会 ② 書きぞめ展審査会
 - ③ 科学教育振興審査会 ④ 児童・生徒美術展
 - ⑤ 発明創意くふう展 ⑥ 中学校英語弁論大会
 - ⑦ 小・中学校読書感想文審査会
 - ⑧ 小学校陸上記録会 ⑨ 中学校音楽会

12. 松伏町教育研究会

会長 大 八 木 健 夫

本研究会は、松伏町内小学校3校、中学校2校に在籍する教職員148名を会員として組織され、28の研究部会で構成されている。

1 本研究会の目的

研究テーマを、「人格の完成を目指す過程の小学校と中学校の9年間で取り組む小中連携」～学びと育ちの連続性の研究～ として研究を推進し、松伏町教育の進歩向上に寄与することを目的とする。

2 主な事業

- (1) 新旧本部役員会 （4月）
- (2) 教科・領域等主任会 （4月 オンライン開催）
- (3) 総会（Web 決議）・全体研修会 （5月）
- (4) 夏季小中合同研修会 （8月）
- (5) 各研究部の授業研究会及び研究協議会

(6) 主催行事

- ① 音楽会 ② 硬筆展 ③ 書きぞめ展
- ④ なかよし交流会 ⑤ 科学展 ⑥ 美術展
- ⑦ 発明創意くふう展 ⑧ 英語弁論大会
- ⑨ 読書感想文審査会 等

(7) 「研究集録」の発行

※松伏町「5校は一つ」を合言葉に、小・中学校の授業公開における参観機会を共有して、連携を深めている

13. 白岡市教育研究会

会長 柴 崎 憲 一

本研究会は、白岡市内の小学校5校、中学校4校に在籍する教職員258名で組織され、27の専門部（研究部会）で構成されている。

1 本研究会の目的

白岡市内小中学校の教職員の相互の連携を密にして、教職員の資質向上と教育の振興発展を図ること。

2 主な事業

- (1) 専門部研究協議会 4月15日(水)
- (2) 常任理事及び理事研究協議会 年2回
- (3) 定期総会（書面決議） 5月8日(金)
- (4) 主催行事
 - ① 小学校陸上競技大会 ② 小中合同音楽会
 - ③ 市内硬筆展 ④ 市内書きぞめ展 ⑤ 市内美術展
 - ⑥ 市内科学審査会 ⑦ 発明創意くふう展審査会
 - ⑧ 特別支援学級小中交流会と作品展
- (5) 教職員全員研修会 （8月）
 - ① 研究委嘱校中間発表（令和9年度発表）
 - ② 教育講演会
 - ・講師 共栄大学教育学部 教授 石井 宏明 氏
 - ・演題 「小中9年間の学びをデザインする」
- (6) 各専門部の活動 6月から令和9年2月まで
各専門部主体による研究協議会や授業研究会、実技研修会等の開催

事務局だより

令和8年度本部事業計画

令和8年

- 4月24日(金) 令和7年度本部会計監査会
 5月14日(木) 第一回正副会長会、常任理事会、理事会
 【GoogleMeet】
 5月22日(金) 評議員への議案審議のメールでの依頼
 『評議員会資料』 【Google フォーム】
 6月10日(水) 全体研究協議会
 令和7年度教育研究論文入賞者表彰式
 講演会 立命館大学名誉教授
 近江兄弟社高等学校校長
 春日井 敏之 氏
 7月8日(水) 教科等研究団体事務局長等研究協議会
 【GoogleMeet】
 7月15日(水) 「会報第79号」原稿執筆依頼メール送信
 9月4日(金) 研究論文応募締め切り
 9月15日(火) 第2回正副会長会 【GoogleMeet】
 10月9日(金) 『会報第79号』発行・会員へ配付
 12月9日(水) 編集委員会
 12月11日(金) 『研究集録付研究論文集』原稿執筆依頼
 メール送信

令和9年

- 1月13日(水) 研究論文入賞者表彰式
 2月12日(金) 教育研究団体活動報告書提出
 (日本教育公務員弘済会埼玉支部)
 2月17日(水) 第3回正副会長会
 3月2日(火) 教科等教育研究団体会計監査会
 ～5日(金) (実績報告書・事業計画案検収)
 3月12日(金) 『研究集録付研究論文集』ホームページ掲載
 3月18日(木) 教育研究団体活動報告書提出
 (埼玉県教育委員会)

祝 被 表 彰

令和8年度「身体障害者福祉のための第68回埼玉県児童生徒美術展覧会」において、埼玉県連合教育研究会会長賞を、次の児童・生徒さんが受賞されました。

おめでとうございます。

○加須市立元和小学校 第2学年
 後藤 穂乃果 さん

作品名 『た～べちゃうぞー!』

○本庄市立児玉中学校 第2学年
 野地 愛香 さん

作品名 『真逆な水族館』

令和8年度全国・関東地区教育研究大会後援

◆全国教育研究発表大会後援 (1団体)

- ・第78回全国造形教育研究大会埼玉大会
 令和9年2月19日(金)

川口総合文化センター 川口市立美術館

◆関東地区教育研究発表大会後援 (2団体)

- ・第34回関東甲信越地区中学校理科教育研究会
 埼玉大会 11月13日(金)

さいたま市立美園南中学校等 県内5校

- ・第65回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究
 大会埼玉大会 11月19日(木)・20日(金)

RaiBoC Hall 公開授業等 県内9校

令和9年度全国・関東地区教育研究大会後援

◆全国教育研究発表大会後援 (0団体)

- ・なし

◆関東地区教育研究発表大会後援 (2団体)

- ・埼玉県保健体育研究会(中学校)
- ・埼玉県特別活動研究会

『研究集録付研究論文集』原稿執筆研究団体

本研究会は、本年度より、年度末の3月発刊しております『研究集録付研究論文集』を本会ホームページのみの掲載といたします。

原稿執筆依頼については、教科等研究団体及び地域教育研究団体並びに研究論文入賞者等に原稿執筆のご協力をお願いしています。

教科等研究団体には毎年、地域教育研究団体には4年に1度の原稿執筆をお願いしています。

なお、旧教育事務所の秩父地区、児玉地区、大里地区、北埼玉地区には、市町村の合併により、変則的に原稿の執筆を依頼しています。令和8年度は、以下の14地域教育研究団体に原稿執筆をお願いいたします。

会員の皆様には、所属の地域研究団体は、もちろんですが、他の研究団体の研究及び活動内容等についても是非、ご覧いただき、各研究団体の今後の事業の充実を図っていただければと思います。

【本会ホームページでもご覧いただけます。】

埼玉県連合教育研究会 URL <https://sairenkyou.jp>

- | | |
|-------------|--------------|
| ①さいたま市教育研究会 | ⑧玉川班教育研究会 |
| ②草加市教育研究会 | ⑨川島教育研究会 |
| ③新座市教育研究会 | ⑩児玉郡本庄市教育研究会 |
| ④伊奈町教育研究会 | ⑪加須市教育研究会 |
| ⑤飯能市教育研究会 | ⑫春日部市教育研究会 |
| ⑥日高市教育研究会 | ⑬八潮市教育研究会 |
| ⑦越生班教育研究会 | ⑭宮代町教育研究会 |

※ 12月11日(金)に、原稿執筆依頼文書をメール送信予定
 ですので、よろしくお願い申し上げます。

令和9年度 研究論文募集要領 (案)

Ver.R8.9.15

埼玉県連合教育研究会

会員の皆様からの研究論文を下記の要領で募集いたします。何とぞ奮ってご応募ください。

記**1 目 的**

日々の教育実践の中から生まれた研究を会員の皆様から募集し、これを広く発表することによって本県教育の振興に資する。

2 募集内容

教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動、進路指導・キャリア教育、視聴覚教育、教育心理・教育相談、特別支援教育、学校図書館教育等の児童生徒に直接かかわる実践的教育研究として、どのように計画し、仮説を立て実践し、さらに、その結果をどのように評価し、今後の教育実践にどう発展させるか等の研究であることとします。

3 応募資格等

応募者は、県内の公立小・中学校、義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校に勤務する教員（会員）であり、研究論文は、個人及びグループの研究（学校としての研究も含む）であることとします。

4 応募規程

原稿の書式は、A4判縦長・横書き、横24字×縦46行×2段組で、パソコン入力（Word 明朝体）により、4～6枚以内（写真、図表を含む）とし、文体は常体（「である」体）を原則とします。

また、研究論文には「表紙」を付け、その上に「応募票」を添付してください。

「表紙」には、①題名 ②勤務校 ③職名 ④氏名（グループ等代表者名）を記入してください。

5 応募票

「応募票」は、ホームページの各種提出書類の「研究論文応募票」からダウンロードしてください。

「応募票」の電子データを希望される方は、以下に記載の電話・E-mailにてお申し出ください。

「応募票」は、「個人研究」・「グループ研究」・「学校研究」別に「表紙」に添付してください。

6 応募上の留意点

- (1) 応募は、1人・1グループ・1学校、1編とします。
- (2) 研究論文は、誌上未発表のものに限り、他団体に応募済みの研究論文は応募対象となりません。
- (3) 令和8年度に「最優秀賞」・「入選賞」を受賞された会員は、応募対象者となりません。
- (4) 公的機関等への研究委嘱等に関わる報告書、研究会、教育誌等に発表済みの研究論文は、応募の対象となりません。
- (5) 本会ホームページ上の「よりよい論文とするために」を参考にしてください。

7 原稿等の提出

令和9年9月3日（金） 必着

「応募票」及び論文原稿等の提出は、以下に記載の事務局へ電子メールでの送信をお願いします。

8 審査結果

審査結果は、令和9年12月中旬に、各応募者宛に書面にて通知します。

9 表彰式等

令和10年1月中に、さいたま市立大宮東中学校にて、研究論文入賞者表彰式を開催します。

また、最優秀賞・入選賞・佳作賞・新人奨励賞に選ばれた研究論文は、令和9年度『研究論文集』（ホームページ）に掲載し、研究の成果を広く公開します。

なお、研究資料費として入選論文には5万円（最優秀賞は7万円）、佳作論文には3万円、選外の応募者にも薄謝を進呈します。

さらに、教職経験10年未満の方を対象に新人奨励賞（2万円）を設けています。

10 審査員

本部役員及び編集委員

11 提出・問い合わせ先

〒330-0804 さいたま市大宮区堀の内町1-99 さいたま市立大宮東中学校内

埼玉県連合教育研究会事務局

TEL 080-1157-5347 FAX 048-645-1922

E-mail saitamakenrengoukyouiku@jcom.home.ne.jp

ホームページURL <https://sairenkyou.jp/>



ホームページ
QRコード